

## ART OF IBARAKI

Ibaraki Ceramic Art Museum



### 近現代日本陶芸の巨匠たち 茨城県陶芸美術館

表紙では、茨城県陶芸美術館所蔵作品の中から、文化勲章受章者及び重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品を中心に、日本の近現代陶芸を語る上で欠かせない作家たちの作品を紹介します。

#### 金重 陶陽 かねしげとうよう

明治29年(1896)ー昭和42年(1967)

#### 「備前 砧花入」 びぜん きぬたはないれ

昭和35年(1960年)

茨城県陶芸美術館蔵

h25.8cm×w14.2cm

備前焼は釉薬を施さず高温で焼成する「焼締」の技法によって造られます。桃山時代には花生や水指などの茶陶が、その侘びた風合いから茶人たちに好まれました。しかし江戸時代に伝統が途絶え、釉薬や顔料で表面が彩られた細工物と呼ばれる置物の生産が中心となります。備前焼の窯元に生まれた金重陶陽は桃山時代の備前焼の再興を志し、その特徴である窯変の再現に成功、1956年には重要無形文化財保持者(通称:人間国宝)の認定を受けました。本作は窯変による鮮やかな緋色や、灰被りの焦げによる黒褐色など古備前の技法による景色が、太い筒型の胴部に細い頸が付いた、砧形と呼ばれる器形に展開されています。古典的な備前焼の技法と力強いフォルムとが融合した本作には、陶陽の個人作家としての個性が強く表れています。

#### 主な内容

- ▼ 12 支部が県内各地で道路美化活動
- ▼ 3 県合同会議を群馬県で開催
- ▼ 建災防の下半期各種講習会日程

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

### 本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行(一般社団法人)茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

# 美化活動通じ社会貢献

## 8月「道路ふれあい月間」

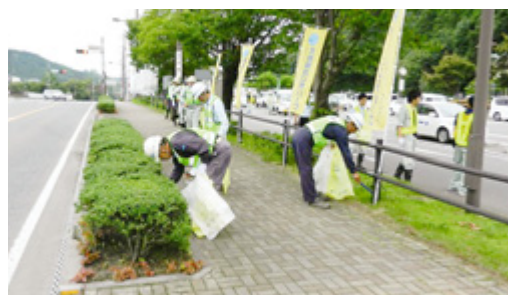
本会の12支部は、「道路ふれあい月間」の初日となる8月1日に、茨城県土木（工事）事務所や市町村などとともに県内各地で道路美化清掃を行いました。ことしはあいにくの雨模様の中、約2000人が参加。「建設業協会」の名前が入ったベストを着用し、「生活を守り、まちをささえる建設業」と書かれた旗を掲げながら、ごみ拾いやカーブミラー清掃、違法看板の撤去などを行いました。

### 水戸支部



県水戸土木事務所や市町の職員を含め約200人が参加し、水戸市、旧内原町、笠間市、小美玉市、茨城町、城里町、大洗町の7カ所で清掃しました。

### 大子支部



県大子工務所、大子町建設課と合同で国道118号や国道461号、県道15路線で清掃活動を行いました。集めたごみの量は約390kgにおよびました。

### 太田支部



県常陸太田工事事務所や常陸太田市などと連携し、国道349号や同293号でごみ拾いや242枚のカーブミラー清掃を行いました。

### 高萩支部



県高萩工事事務所、北茨城市、高萩市と合同で約200人が参加。日立、高萩、北茨城の3地区において道路を清掃し、ごみの分別回収に尽力しました。

### 常陸大宮支部



県常陸大宮土木事務所と合同で道路を清掃。常陸大宮市、ひたちなか市、那珂市、東海村において、空き缶やたばこの吸い殻などを拾い集めました。

### 鉾田支部



県鉾田工事事務所や鉾田市、行方市などと協力し、国道355号をはじめとする管内6路線で道路区域内に放置された空き缶などを回収しました。

# 12支部が県内各地で汗流す

## 県土木(工事)事務所、市町村と共同作業

この活動は、道路の管理者である県土木（工事）事務所や市町村、そして道路の建設・維持・補修の実務を行う建設業界で、ごみ拾いや違法看板類撤去などを行う姿勢を広く示すことにより、道路管理の大切さを訴え、道路美化に寄与するために行っているものです。平成8年度から毎年、8月10日の「道の日」を中心に実施しており、今回で22回目となりました。

潮来支部



県潮来土木事務所、神栖市、神栖市総合建設業協会と協力。総勢195人が6班に分かれ、国道124号など15km区間で、ごみ類を回収しました。

筑西支部



県筑西土木事務所や3市と協力し、国道294号をはじめとする約50路線280kmを総勢450人で清掃。可燃ごみ349袋、不燃ごみ214袋が集まりました。

竜ヶ崎支部



県竜ヶ崎工事事務所や龍ヶ崎市と清掃活動を実施。3班に分かれ、佐貫停車場線のJR佐貫駅東口広場～県道土浦竜ヶ崎線区間において空き缶などを回収しました。

常総支部



県常総工事事務所と協力し、国道294号(石下紫峰高校南交差点～石下中学校東交差点)で活動。可燃ごみ160kgを下妻市のごみ処理場に搬入しました。

土浦支部



支部員404人が県土浦土木事務所や周辺自治体の協力を受け、道路清掃活動を展開。延長689.1kmで空き缶や空き瓶などさまざまなごみを拾い集めました。

境支部



県境工事事務所と協力し、252人で管内の主要13路線112.8kmで清掃活動を展開。交差点を中心に空き缶などのごみを回収しました。

# 週休2日の取り組み推進

茨 城 群 馬 栃 木

3県建設業協会が合同会議

平成29年度（第36回）茨城・栃木・群馬3県建設業協会合同会議が7月27日、群馬県渋川市内のホテルで開催され、各県協会の正副会長が出席。働き方改革（週休2日制）への取り組みやi-Constructionの推進など、5つの議題について意見を交わしました。また公共事業費の確保・拡大や週休2日制への取り組み推進、IT人材の確保・育成など8項目を盛り込んだ決議を採択し、実現を期しました。



石津茨城県副会長



青柳群馬県会長



渡邊栃木県会長



群馬県協会の青柳剛会長は「週休2日制、働き方改革が本格的に始まり、情報化施工も具体的な成果が求められている。業界でまとまり地方建設業本来の役割を発信していかなければ」と、栃木県協会の渡邊勇雄会長は「地方建設業は、地域間、企業間の格差で厳しい状況にあり、建設業の体力回復が急務。担い手3法の運用の徹底がなにより必要」とあいさつしました。

本会の石津健光副会長は「週休2日制は避けて通れない問題。業界全体で取り組まなければ道は開けないと考えている」と述べました。

意見交換では、週休2日制について、人材確保の観点から導入の必要性を共有。課題として「民間工事におけるコスト増や工期への理解」、「受発

注者の意識改革」などが挙がりました。

本会はi-Constructionの推進をテーマとして取り上げ、関東地方整備局管内でのICT土工96件のうち、32件を本県が占めていることなどを明示。ICTモデル工事支援協議会による支援内容なども紹介しました。

意見交換ののち◇平成30年度当初予算および平成29年度補正予算における公共事業費の拡大◇担い手3法の運用指針を徹底・助言◇地域に密着した工事量の確保と適正な事業執行を図ること◇IT人材の確保・育成対策◇銘板設置の拡充推進◇週休2日制の導入に向け経費や工期、発注者の意識改革などを図ること — などの事項を盛り込んだ大会決議を全会一致で採択しました。

次世代を担う若者たちへ 建設業の魅力をアピール

## 普通科高校インターンシップを実施

神栖高校と水戸桜ノ牧高校常北校の生徒が参加

本会は、普通科高校を対象としたインターンシップを本年度も実施し、神栖市の会員企業3社（常総開発工業㈱、小若建設㈱、幸武建設㈱）が神栖高校の生徒を、水戸市の㈱秋山工務店が水戸桜ノ牧高校常北校の生徒を受け入れました。各校の生徒たちは、現場を見学したほか、測量機器や重機操作などを行い、新しい体験に目を輝かせていました。

この取り組みは、将来を担う若者たちに建設業への理解と関心を深めてもらおうと、平

成27年度から実施しています。

生徒から「重機に乗って仕事をしてみたいと思った」などの声が挙がった神栖高校の戸村文隆先生は「この体験後に志望を建設業に変



測量を体験する  
神栖高校の生徒たち

更しようか検討し始めた生徒もいる」と体験の効果を実感し「非常に貴重な機会なので今後も是非継続していただきたい」と期待していました。水戸桜ノ牧高校常北校2年の室伏陽太さんは「父親が建設関係の仕事なので興味がありました。建設業を選択肢の1つに考えています」と話していました。



常北校の室伏さんは情報化施工も体験

## 建設ふれあい祭りを開催

境支部と  
未来協県西地区会



境支部（新井孝支部長）と建設未来協議会県西地区会（申田一仁幹事）は8月26日、境町の利根川河川敷船着場にバックホウやショベルローダー、ブルドーザー、高所作業車など建機約20台を用意し、第5回「建設



ふれあい祭り in 境」を開催しました。

当日は天気にも恵まれ、親子連れを中心に約2000人が来場。重機運転やアーム操作を体験する子どもたちの笑顔と歓声で会場は1日中賑わいました。

鉾田支部  
活動報告

## 支部初のICT研修会を開く

i-Construction 活用工事が国直轄、県発注工事へと広がりを見せる中、鉾田支部（羽生義隆支部長）は8月3日、支部主催として初めて日立建機㈱のICT デモサイト（ひたちなか市）を活用した研修会を開き、支部会員と県鉾田工事事務所職員合わせて23人が参加しました。



羽生支部長

冒頭、羽生支部長は「限られた時間の中ですが、最新の技術を体験していただきたい。そして会社に持ち帰り、広めてほしい」と呼び掛けました。県鉾田工事事務所の川崎正博所長は「ICTの活用工事は県でも実施し、部の執行方針にも位置付けられている。生産性向上や工期短縮、安全性の向上などのメリットがあると聞いている。本日の



マシンコントロールを体感しました

研修会で勉強したい」とあいさつしました。

参加者たちは研修棟内において、起工測量、設計・施工計画、施工、検査、データ納品の各段階における本ポイントとICT油圧ショベルZX200Xについて説明を受け、屋外へ移動。2班に分かれ、ZX200XとICTブルドーザD31Pを見学・体験しマシンコントロールを用いた建機の理解を深めました。

建設フェスタ  
2017

10月29日に笠松運動公園で開催

実行委員会が会合開く

「建設フェスタ2017」の開催に向けた実行委員会（委員長＝小林圭一本会建設未来協議会長）の初会合が7月27日、水戸市の県建設技術管理センターで開かれました。建設フェスタの開催日は10月29日（日）で、開催場所は昨年同様、ひたちなか市の笠松運動公園となります。

冒頭、小林委員長は「本年も多くの方々にご来場いただき、子どもたちやご家族の皆さまに建設業の魅力を伝えていきたい。」とした上で、「成功に向け、皆さまのご協力をお願いしたい」とあいさつしました。

県検査指導課の安正弘課長補佐は「建設フェスタは、子どもたちに楽しみながら建設業の魅力を

正しく知ってもらう良い機会。皆さま自身が楽しむことで、子ども



今回は先端技術体験コーナーの設置も計画に思いが伝わる」と期待を込めました。

続いて幹事会の委員紹介、実行委員会の名簿確認、年間スケジュールなどを協議。笠松運動公園では、屋内水泳プール兼アイススケート場前の広場と第6駐車場の一部を使用します。なお、本年度は新たな取り組みとして先端技術体験コーナーを設置する予定です。

**建設業労働災害防止協会茨城県支部 2017年度開催予定表（下半期）**

月	日	曜日	講習名	会場	備考	
10	2	3	月 火	小型車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）の運転	古河市商工会三和事務所	○(3日実技)
	10	11	火 水	小型移動式クレーンの運転	ひたちなか商工会議所会館	○(学科)
	12	13	木 金		建荷協研修センター	○(実技)12、13日のいずれか
	13		金	足場の組立て等の業務に係る特別教育（6H）	茨城県建設技術研修センター	
	16	17	月 火	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	茨城県建設業協会筑西支部会館	
	18		水			
	18	19	水 木	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
	19	20	木 金	木造作業主任者	石下建設会館	
	24	25	火 水	高所作業車の運転	石下建設会館	○(学科)
	26	27	木 金		石下建設会館駐車場	(実技)○26、27日のいずれか
30	31	月 火	足場作業主任者		茨城県建設業協会高萩支部会館	
11	1	2	水 木	職長・安全衛生責任者	茨城県建設業協会竜ヶ崎支部会館	
	6	7	月 火	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	建荷協研修センター	
	8		水			
	7	8	火 水	高所作業車の運転	建荷協研修センター 2 階	(学科)
	9	10	木 金		建荷協研修センター	(実技)9、10日のいずれか
	13	14	月 火	足場作業主任者	建荷協研修センター	
	15		水	足場の組立て等の業務に係る特別教育（6H）	建荷協研修センター	
	17		金	のり面ロープ高所作業特別教育	古河市商工会三和事務所	○
	20	21	月 火	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	鹿島ハイツスポーツプラザ	
	22		水			
24		金	職長・安全衛生責任者能力向上	建荷協研修センター		
27	28	月 火	職長・安全衛生責任者	石下建設会館		
29	30	水 木	建築鉄骨作業主任者	建荷協研修センター		
12	5	6	火 水	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	7	8	木 金		鹿島港湾福祉センター	(実技)7、8日のいずれか
	11	12	月 火	コンクリート工作物解体作業主任者	建荷協研修センター	
	14	15	木 金	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
	18		月	足場の組立て等の業務に係る特別教育（6H）	茨城県建設技術研修センター	
	18	19	月 火	職長・安全衛生責任者	鹿島港湾福祉センター	
	20	21	水 木	足場作業主任者	鹿島ハイツスポーツプラザ	
1	23	24	火 水	玉掛け	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	25	26	木 金		鹿島港湾福祉センター	(実技)25、26日のいずれか
	29	30	月 火	足場作業主任者	建荷協研修センター	
	31	2/1	水 木	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
2	6	7	火 水	小型移動式クレーンの運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	8	9	木 金		鹿島港湾福祉センター	(実技)8、9日のいずれか
	7		水	足場の組立て等の業務に係る特別教育（6H）	茨城県建設技術研修センター	
	20	21	火 水	高所作業車の運転	ひたちなか商工会議所会館	○(学科)
	22	23	木 金		建荷協研修センター	○(実技)22、23日のいずれか
3	6	7	火 水	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	8	9	木 金		鹿島港湾福祉センター	(実技)8、9日のいずれか
	12	13	月 火	足場作業主任者	建荷協研修センター	
	15	16	木 金	足場作業主任者	鹿島勤労文化会館	
	22	23	木 金	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	

注：実技を伴う技能講習の実技講習日は、申込先着順に指定します。

\*備考欄に「○」がある講習は、特定の団体から要請があり開催する講習会になりますので、一般での受講を希望する方は予め受講残余の枠を確認して下さい。

# 平成29年度 建設業退職金共済制度加入促進強化月間 平成29年10月1日～平成29年10月31日

建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です

独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
建設業退職金共済事業本部  
建退共茨城県支部

TEL 029-225-0095 FAX 029-225-1158  
<http://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp>

10月・11月は  
「建設共済加入促進月間」です

**安い掛金！ 大きな補償！**  
**建設共済保険**  
法定外労災補償制度

【建設共済保険】の他にも、次のような事業を行っています。

- 育英奨学事業**  
被災者（死亡および労働障害・重傷3級以上）の子弟に対して、養育期間および小学校から大学までの各学期中、返済不要の奨学金を継続して助成。
- 労働安全衛生推進事業**
  - ① 安全衛生用品の頒布
  - ② 女性専用トイレ導入費用に対する助成
  - ③ 安全衛生推進者表彰 等

28年度4月スタート!

公益財団法人 **建設業福祉共済団**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-15 (虎ノ門NSビル)

Tel. 03-3591-8451

<http://www.kyousaidan.or.jp/> 建設共済保険

**取扱機関**

(一社) **茨城県建設業協会**

〒310-0062 水戸市大町3-1-22

Tel. 029-221-5126 FAX. 029-225-1158

太田支部  
活動報告

## 源氏川堤防にて 除草や黒土搬入



重機を用いて黒土を搬入しました

太田支部（瀬谷實支部長）は7月25日に、山吹運動公園付近を流れる源氏川沿いでボランティア活動を実施。堤防の約500m区間で除草作業を行ったほか、黒土を搬入して市民が花を植えられるような環境を整えました。

## ちよつと一言



今年の夏の暑さは一瞬だった気がする。確かに暑いと感じる日はあったが、暑い日が毎日のように続くといった夏ではなかったのではないだろうか？これも異常気象のせいなのか…。ニュースでは、日本のみならず世界各国で頻発する異常気象などの災害を目にする。こういった災害に対し、どのように備えていかなければならないのか、今まさに問われているのかもしれない。(K)